

＜巻頭言＞編集委員長就任のご挨拶

(東京工業高等専門学校) 加藤 格 …… 1

＜特集＞分離技術会年会 2016

特別講演

構造物の安全を診断する～非破壊検査 最新の動向～ (日本大学) 小井戸純司 …… 2

分離技術会年会 2016 をふりかえって (日本大学) 日秋 俊彦 …… 7

オープンイノベーション 2016 をふりかえって (名古屋工業大学) 森 秀樹 ……11

セッション報告

相平衡・物性 (日本大学) 保科 貴亮…12 / 分析技術 (日本大学) 南澤 宏明…13 / 蒸留・ガス吸収 (ダイセル) 轟 尚紀…14 / シミュレーション (東洋エンジニアリング) 佐々木正和…15 / 吸着 (東洋大学) 清田 佳美…16 / 抽出・超臨界抽出 (名古屋大学) 後藤 元信…17 / 晶析 (兵庫県立大学) 前田 光治…18 / 流体固体分離 (法政大学) 森 隆昌…18 / 膜分離・膜全般 (芝浦工業大学) 野村 幹弘…19 / バイオ・材料・プロセス化学 (大阪大学) 馬越 大…20 / プログラム…22

学生賞

プロピレン-プロパン 2 成分系分離を対象とした蒸留-膜ハイブリッドプロセスの適用可能性に関する検討 (山形大学) 鈴木 健太…30 / CO₂ファインバブルを用いた製塩苦汁からのドロマイトの反応晶析 (日本大学) 土屋 侑子…31 / 303.2 K の均一液相領域におけるプロパン+エタノールおよびプロパン+1-プロパノール混合系の誘電物性 (日本大学) 小柴 侑輔…33 / エチレン-エチルアクリレート共重合体 (EEA) 製造に関する相平衡の測定および相関 (東北大学) 小池 美旺…34 / 架橋型分子認識ゲート膜の高感度化に向けた構造設計 (東京工業大学) 奥山 浩人…36 / 二段格子マイクロ流路を用いた微粒子の連続的湿式分級 (千葉大学) 矢内 巧馬…37 / ヒドロシリル化による耐酸化性SiOC 膜の作製と特性評価 (広島大学) 印出 洋樹…38 / 亜臨界ジメチルエーテルを用いたグリシンの貧溶媒晶析 (名古屋大学) 勝部 翼…40 / ミリチューブ型 Taylor Vortex 晶析装置で製造した結晶粒子群の品質評価 (東京農工大学) 山口 裕子…41 / 共結晶連続製造のための操作条件の設定手法 (東京農工大学) 中佐 未来…42 / カチオン性リガンドを修飾したリポソームの界面特性評価ならびに核酸分子吸着への応用 (大阪大学) 渡邊 望美…44 / リポソーム膜界面に吸着させた L-Proline による触媒反応 (大阪大学) 廣瀬 正典…45

編集委員 委員長：加藤 格(東京工業高等専門学校) / 副委員長：岡田昌樹(日本大学) / 佐々木正和(東洋エンジニアリング) 委員：小野 剛(住重プラントエンジニアリング) / 岡崎純也(日揮) / 下山裕介(東京工業大学) / 高羽洋充(工学院大学) / 滝山博志(東京農工大学) / 陶 慧(日本大学) / 野村幹弘(芝浦工業大学) / 松田弘幸(日本大学) / 松本真和(日本大学) / 三澤司朗(化学工業社) / 南さつき(コスモエンジニアリング) / 宮崎光男(月島機械) / 望月和博(東京大学) / 森 隆昌(法政大学) / 中村秀美(奈良工業高等専門学校) / 佐古 猛(静岡大学)

奨励賞

有機ハイドライド系を対象としたイオン液体膜による炭化水素の選択的透過回収
(大阪大学) 前田 洋平…47 / イミダゾリウム系混合イオン液体の二酸化炭素溶解度
(日本大学) 佐藤佳代子…48 / 改良型 Petlyuk 蒸留プロセスの改修における安定操作条件
の検討 (名古屋工業大学) 早川 大生…49 / 脂肪酸固定化中空ビーズの特性を活用した有
害物質の吸着・回収法の開発 (大阪大学) 和多 大樹…50 / 対向拡散 CVD 法による水素
分離用シリカ複合膜の開発 (芝浦工業大学) 柴田 愛…51 / 奨励賞選考理由…53

報 文

蒸留の基礎となる 2 成分系気液平衡データの評価について

—474 系, 1,056 データセットを対象として—

(日本大学) 榎木 勝己
隅田 和昌 ……55
松田 弘幸
栗原 清文

<若い“め”>

超臨界二酸化炭素を利用した固定化Lipaseによる高活性で持続可能な

脂質改質反応プロセスの開発

(東京理科大学) 納谷 昌和 ……61

<国際会議報告>

ACTS-2016(3rd Asian Crystallization Technology Symposium :

第 3 回アジア晶析技術シンポジウム)

(東京農工大学) 工藤 翔慈 ……70

文献一覧「膜」編 (2015—2016 年度版)

(東京工業大学) 下山 裕介 ……61

平成 28 年度分離技術会総会報告 ……77

会の動き ……80